

Interview with Partners

NITGen Technologies社
Enpiaビジネスグループ社長

ユン・キジョウ氏



NITGen Technologies

先進のネットワークソリューションで BladeSymphonyと共に世界を目指す。

ブロードバンド先進国・韓国で実証された負荷分散ソリューション「enpia Sシリーズ」。その高度なトラフィック管理機能をBladeSymphonyに提供するNITGen Technologies社のユン・キジョウ氏に日立と共有する目標について伺った。

韓国の主要サイトに採用される「enpia Sシリーズ」を提供。

私どもNITGen Technologies社は設立以来、国内初のiDCの設計など韓国における主要なネットワークインフラのコンサルティングから設計、デザインなどをトータルに手がけてまいりました。

そうしたなか、大手証券会社からノンストップサービスを実現するためのインフラ運用管理の委託を受けたことをきっかけに、高度な安定性と信頼性、可用性、拡張性、運用性を備えたenpia Sシリーズを開発し、現在、韓国内の大手テレビ局や検索ポータルサイト、音楽配信サイトといった安定稼働が絶対条件となる主要サイトに採用され、高い評価をいただいています。

日立さんとは、2004年3月に株式会社日立オープンプラットフォームソリューションズ(現・日立電子サービス株式会社)と販売代理契約を締結させていただいてからの付き合いです。そして昨年9月からBladeSymphonyのサーバシャーシ内蔵ロードバランシングブレードにプレインストールするトラフィック管理ソフトウェアとしてenpia Sシリーズをご提供しています。

BladeSymphonyの優れた柔軟性にさらに磨きをかける負荷分散機能。

enpia Sシリーズの最大の特長は、サーバの隣でトラフィックを監視・負荷分散する「Stand-Aside」という方式です。実際のデータトラフィックに介入することなく、通信のボトルネックを解消できるとともに、通信

装置の障害によるサービス停止といった事態を回避することもできます。

また、物理的に離れたサイト間でのロードバランシングも可能なenpia Sシリーズなら、複数のiDC間にまたがる負荷分散の実現によって、例えば、災害発生時など万一の際もビジネスを継続させるためのディザスタリカバリシステムも実現できます。日本のディザスタリカバリシステムはメインサイトのほかに、データを避難させるバックアップサイトを構築するのが一般的なようですが、韓国では実質的に災害時にしか使われないバックアップサイトに代わり、すべてのサービスを複数のiDCに分散させ、複数の「アクティブサイト」を構築する方法が主流です。こうしたシステムの構築で多くの実績をもつenpia Sシリーズなら、企業内のITリソースの最適化にも大きく貢献できるはずです。

スケールアウトやスケールアップによって急激な負荷変動にも対応できるBladeSymphonyは柔軟性・拡張性・運用性に優れた統合プラットフォームですが、サーバの負荷や状態をリアルタイムで検出し、高精度なフェイルオーバーやロードバランシングを実行するenpia Sシリーズなら、そうしたBladeSymphonyの優位性をさらに引き出すことができるのではないかと考えております。

初の海外ビジネスパートナー・日立と夢のグローバルマーケットへ。

現BladeSymphonyへenpia Sシリーズを提供するにあたっては、カスタマイズなどに約1年間を費やしましたが、日立さんとのやり取りのなかで日本の商習慣や日立さんのものづくりに対する考え方など、さまざまなことについて教えていただいたのは、私どもにとっても大変有意義な経験でした。

そして、昨年北米市場に進出されたBladeSymphonyが日本だけでなく世界的な

製品に成長した時、そのトラフィック管理を私どもがサポートできているなら、これほどうれしいことはありません。今後も日立さんに対しては万全のサポート体制をご提供するとともに、enpia Sシリーズのほかにもコンテンツ管理に関する「enpia Cシリーズ」



ユン・キジョウ氏

など新たに開発したソリューションも積極的にご提案したいと考えております。

トラフィック管理とコンテンツ管理でネットワークソリューションにおけるワールドワイドな存在を目指す私どもにとって初めての海外パートナーである日立さん、そしてBladeSymphonyと手を携えながら、目標である世界の市場を目指したいですね。

iDC: Internet Data Center

NITGen Technologies Inc.

www.enpia.net

本社 韓国ソウル市瑞草区瑞草洞1337-31
韓国産学財団ビル3階

設立 2000年3月(Enpiaビジネスグループ)

従業員数 50名(Enpiaビジネスグループ:2006年3月現在)

事業内容 ネットワークソリューションの開発及び販売

ネットワーク統合管理のアウトソーシングサービス